

Pキラー

ペイントキラーAC,32,32N

- ・オーバースプレーペイントを変性し、除去を容易にするブース添加剤です。
- ・ペイントキラーは循環水に添加するだけで、水中のオーバースプレーペイントを粘着性のない沈殿物(または浮遊物)に変性する優れた特徴をもっています。

■ 特 長

- ・オーバースプレーミストは、粘着性をなくした状態に変性し、浮上/沈殿します。
- ・水の腐敗を防ぐため、無排水でブースの連続運転が可能です。
- ・ブース本体に塗料が付着しにくく日々洗浄の必要がなく、かつ定期的メンテナンスの回数も減ります。
- ・pH管理を適正に行いますと、水槽鉄部の腐食が防げます。

■ 使用方法

ペイントキラーの標準添加量は、水量の0.3%(水1000ℓに対し3kg)です。ポンプスブースPLB型をご使用の場合はブースを運転しながら、水がよく攪拌されている鋸歯板の近くに少量づつ投入するだけで充分です。

■ 液の濃度管理

ブースの循環水中のオーバースプレーペイントが増加すると、次第にペイントキラーの効果が低下しますので、つぎの要領で補給して下さい。

■ pH試験紙による管理

pH試験紙(アリザリンイエロー)を循環水につけるとそのときのpH値を示しますので、別紙標準変色表と比較し、pH10.5以上になるまでペイントキラーを補給してください。

- 本製品は水酸化ナトリウムの含有量が5%を超えるため、劇物に該当します。
- 転売または授与目的で購入されるお客様は、毒物劇物一般または、特定品目販売業の登録が必要です。
- 法令に従い、転売目的で販売業無登録のお客様には、販売いたしません。
- ご注文前に必ずSDSシートをご確認ください。

Pキラー

ペイントキラー501

- ・ペイントキラー501中性薬品につき、取り扱い上安全なブース添加剤です。
- ・オーバースプレーペイントを変性し、除去を容易にするブース添加剤です。
- ・ペイントキラーを添加するだけで、水中のオーバースプレーペイントを粘着性のない浮遊物に変性し、回収が簡単にできます。

■ 特 長

1. 強粘着性のハイソリッド塗料なども、粘着性のない浮遊物に変性できます。
2. ブース本体に塗料が付着しにくく、メンテナンスの回数も軽減します。
3. 不粘着性になった塗料ミストは、シート状または粒状で浮上するため、スラッジ回収が容易です。
4. ほとんどの溶剤塗料に効果を発揮します。

■ 使用方法

ペイントキラーの標準添加量は、水量の0.02~0.04%(水量1000ℓに対し0.2~0.4kg)を添加してください。水槽内の水の状態により、添加量の調整を行ってください。

■ 取扱上の注意

1. 本品は密封の上、直射日光をさけ冷暗所に保存ください。
2. 本品は強アルカリ性ですので、粉末が皮膚に直接付着しないように注意してください。また、付着した場合は直ちに粉末を払い落とし、大量の水で洗浄してください。
3. 本品を早く溶かす為に少量の水で一旦希釈しますと、強アルカリ性水溶性になり危険ですので、粉末のまま水槽に投入してください。

■ 出荷単位

20kg/ダンボール箱入り

各種塗料に対するペイントキラーの適正

塗料	ペイントキラー	AC(48.6%)	32(24.5%)	32N(17.9%)
アミノアルキッド樹脂系		◎	◎	○
フタル酸樹脂系		◎	◎	○
エポキシ樹脂系		◎	◎	○
メラミン樹脂系		◎	○	○
アクリル樹脂系		◎	○	◎
ポリウレタン樹脂系		○	○	◎
ポリエステル樹脂系		○	○	◎
ウオッシュプライマー		◎	○	○

◎……特におすすめします ○……変性可

※()内の数字は水酸化ナトリウムの含有量です。

■ 取扱上の注意

1. 本品は、直射日光をさけ冷暗所に保存して下さい。(40℃以上にはしないでください)
2. 容器を開いた状態で長期間放置すると表面がゲル化する事がありますので、容器も密閉して保存して下さい。また、表面がゲル化した際には攪拌もしくはゲル状物を取り除いてご使用ください。
3. 本品は安全性の高い薬品ですが、原液が皮膚に付いた場合などは、水で十分に洗浄してください。また、万一誤飲した場合は、大量の水、食塩水を飲んで吐き出し、急いで医師の診断を受けてください。

■ 出荷単位

15kg缶